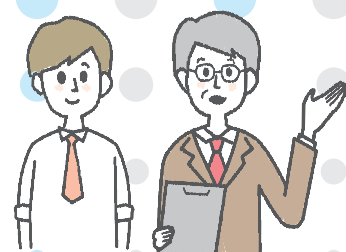


研究したいけど…。

- 費用が足りない
- 研究設備がない
- テーマが定まらない
- 何から始めたらいいかわからない

研究交流室で説明を聞こう！



- 研究費の援助
- 研究テーマの決定
- 計画書の書き方など



ロゴの表示板が目印です。

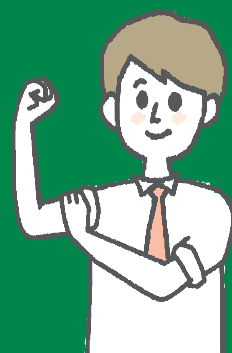
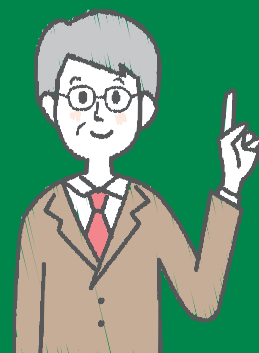
職員が在室中はドアのカギが開いています。
ドアノブを回す方向に注意して開けてください。

研究 応援します



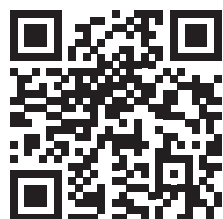
先導的研究者体験プログラム(ARE)で
研究者の生活をリアルに体験！
もちろん、研究テーマは自由です！

Kdb「先導的研究者」で **検索**



【事務局】
筑波大学 研究交流室
(第三エリア 3B棟2階 3B205室)

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL/FAX 029-853-8284
E-MAIL ARE@un.tsukuba.ac.jp



プログラムについて相談したい学生は
事前にメールで相談を希望する日時を
お知らせください



研究者に必要な3つの能力を鍛える

探究力

科学研究費補助金(科研費)と同じように、研究のレベルに応じて研究費の額に区分を設け、研究活動を行いたい全学群の1～3年生(編入生も可)に、研究計画書の申請をしてもらいます。審査を受けて採択され、アドバイザー教員の認可が得られれば、学生は早期に研究室配属され、4年生や大学院生のような研究活動ができる体制になっています。このプログラムでは、研究者生活を体験させるだけでなく、自分自身で見つけた研究課題を試行錯誤しながら研究を遂行し、物事を探究する力を習得してもらいます。それに加えて、研究業績・研究成果に応じて、レベルの高い申請ができますので、自分自身のレベルアップにもつながられます。研究終了後は、実績報告書を提出してもらい、成果の審査を行います。

表現力

参加者全員が研究成果の報告を行う研究発表会を開催します。この研究発表会では、自ら発見したことや創造したことを人に伝えることの喜びと難しさを体得することで表現力を身につけてもらいます。全ての発表者が互いの研究内容を知ることができるよう、ポスターセッションを設けています。研究意欲の向上や異分野の方に研究内容を伝える力を伸ばすために、優れた発表をした学生には賞を授与します。研究発表会は学内外に公開し、どなたでも参加できます。毎回、外部評価委員の先生方に学生の研究発表を評価して頂いています。

コミュニケーション力

参加学生がより確固とした目標を持ち、研究者生活をより明確にイメージしてもらうために、研究者、企業家、個人事業主や大学院生などを招いて、研究体験談や研究の話を聞き、講演者と交流するセミナー(交流セミナー)を実施します。このセミナーで異分野の参加学生や教員と交流することで、分野外の人たちに自分の興味・関心を伝えることのできるコミュニケーション力を磨かせます。

筑波大学は新たな学問分野を開拓する
先導的研究者を育成します

「先導的研究者体験プログラム」(ARE)は、全学群・学類の1年生から3年生を対象に、理系、文系を問わず、学生諸君の自発的な研究活動を支援するプログラムです。このプログラムは、学生の研究意欲や研究能力を伸ばすと同時に、自発的に学ぶ力をつけ、創造的で稀有な人材を育成することを目的としています。

筑波大学は、1973年の開学以来、多様な分野を見渡す力と専門的知識に基づく学際的研究・教育を先導する人材の育成を行って来ました。2019年4月からは、さらにこの理念を押し進め、新たなリベラルアーツ教育を実施します。これは総合科目、体育、外国語、情報、国語、芸術といった一般的な知の探求に加えて、「専門導入科目」として、自分の専門としたい分野に関する知識や技能のほか、様々な専門分野の基礎を学びます。つまり、学問分野を広く俯瞰しながら、自分が学ぼうとする専門分野の特徴を理解し、あわせて多様な学問分野の融合の可能性を考えるものです。AIなどデジタルサイエンスの革新が社会に大きな変化を生んでいる過渡期において、新たな発見そして学問分野を創成していただきたいと考えています。

最近は、高校においても課題研究などが盛んに行なわれ、優れた研究成果をあげていますが、高校時代は、特に課題研究などの経験がなかった人でも、「筑波大学では自分で何らかの課題を決めて調べてみよう」と考えている人も少なくないと思います。その一方で、1年次の授業において、基礎的な科目など、本来、学びたかったこと、研究したかったこととは直接結びつかない科目も少なくなく、若干、戸惑いを感じる場合もあるでしょう。しかし、このAREは、自分の興味のある研究課題を、財政的支援を受けながら、すぐに始めることができるプログラムです。

あなた自身の関心のあるテーマについて「研究計画書」を作成し、AREに提出してください。あなたの課題が採択されれば、あなたは、速やかに自分の研究課題に取り組むことができ、研究者の卵として、研究人生をスタートさせることができます。そして、自分の研究結果についてプレゼンテーションをする際には、あなたはすでに新人研究者として、研究キャリアをスタートさせているのです。

研究課題について、あまり難しく考える必要はありません。「世紀の大発見」といわれるこれまでの研究も、初めはちょっとした思いつきやきっかけから始まることも少なくありませんでした。皆さんの研究課題が、将来、大きな研究成果へ通ずる可能性も十分あります。その一方で、研究者としての道のりは、決して平たんではなく、克服しなくてはならない問題に突き当たることも幾度となくあるでしょう。一見、まったく関係のないと思われる分野や領域の人と接して、さまざまな意見やアドバイスを受けることにより、研究上の問題解決のヒントを得られる場合も少なくありません。

筑波大学は、他の大学に比べて学群間の壁が低く、異なる分野の授業を受講し、幅広い知識を獲得することが可能な教育システムを採用しています。本学のこのような利点を、皆さんの研究に大いに役立ててほしいと思います。AREでも、「研究者体験」の授業で、異分野の学生との合同研究発表会や「交流セミナー」を開催して、皆さんの研究上の視野が、さらに広がるよう応援しています。また、AREは学群での基礎的な課題研究を、将来、大学院での本格的な研究活動に発展させることも奨励しています。理系、文系を問わず、研究に関心をもつ多くの学生の参加を期待しています。

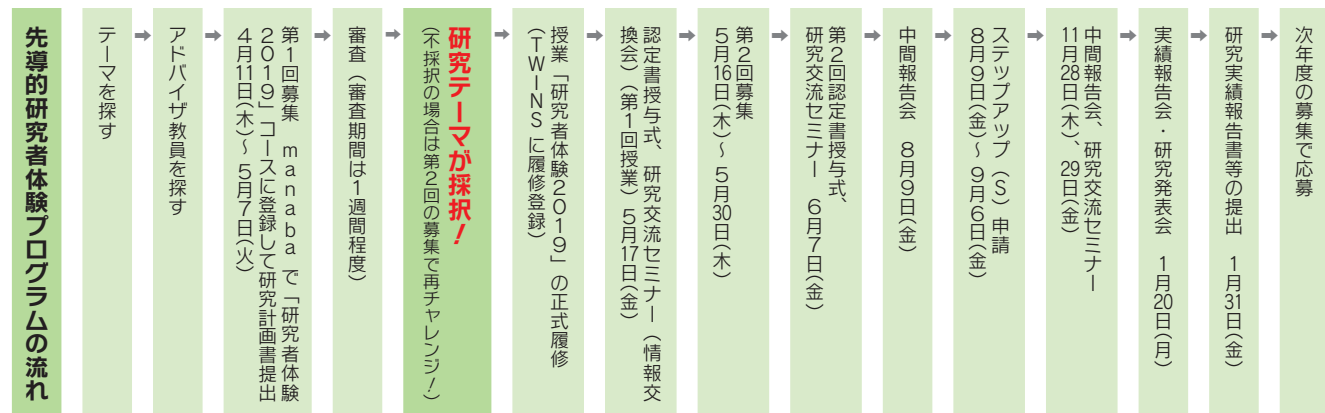


先導的研究者体験プログラム (ARE) で研究者生活をリアルに体験!!

— 研究の厳しさ、発見や創造の喜びを体感し、学習意欲や課題探究力を磨こう —

全学群
1~3年生対象

1~3年生対象



H21～H30までの採択状況

●対象

H21～H24 生命環境学群・理工学群・情報学群の1～3年生

H25～ 全学群1～3年生

種目別採択件数

種目	H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30	
	採択件数：22件		採択件数：28件		採択件数：25件		採択件数：39件		採択件数：30件		採択件数：45件		採択件数：45件		採択件数：41件		採択件数：47件		採択件数：56件	
	参加人数：24名		参加人数：23名		参加人数：25名		参加人数：44名		参加人数：32名		参加人数：48名		参加人数：50名		参加人数：43名		参加人数：48名		参加人数：63名	
	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数	申請上限 個人／共同	件数
S	100万円	4	60万円	1	100万円	1	100万円	1	50万円	0	50万円	0	50万円	0	50万円	0	30万円	2	24万円／ 30万円	2
A	30万円	8	30万円	0	30万円	4	30万円	1	20万円	1	20万円	4	20万円	0	20万円	1	20万円	2	15万円／ 20万円	10
B	7万円	7	10万円	4	15万円	9	15万円	13	10万円	14	10万円	15	10万円	20	10万円	17	10万円	11	6万円／ 10万円	17
C	3万円	3	5万円	7	5万円	11	5万円	24	5万円	14	5万円	24	5万円	22	5万円	23	5万円	30	3万円／ 6万円	24
奨励	-	-	2万円	16	-	-	-	-	0円	1	0円	2	0円	3	0円	0	0円	2	0円	3

所属別参加学生数

所属	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
人文・文化学群	-	-	-	-	3	7	7	3	2	8
人文学類	-	-	-	-	3	4	6	3	1	8
比較文化学類	-	-	-	-	0	2	1	0	0	0
日本語・日本文化学類	-	-	-	-	0	1	0	0	1	0
社会・国際学群	-	-	-	-	0	1	1	0	0	1
社会学類	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0
国際総合学類	-	-	-	-	0	0	1	0	0	1
人間学群	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0
障害科学類	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0
生命環境学群	9	15	14	21	16	20	21	15	20	16
生物学類	6	11	10	7	8	7	14	8	12	8
生物資源学類	3	4	3	13	4	12	7	6	7	8
地球学類	0	0	1	1	4	1	0	1	1	0
理工学群	10	5	10	19	8	19	6	10	7	19
数学類	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
物理学類	5	2	2	5	3	1	1	0	0	0
化学類	0	1	0	2	1	2	1	0	0	0
応用理工学類	1	0	4	5	3	6	3	5	4	7
工学システム学類	4	2	3	7	1	7	1	2	3	12
社会工学類	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0
情報学群	5	3	1	3	5	1	14	15	19	19
情報科学類	2	1	0	1	4	1	4	3	1	4
情報メディア創成学類	3	1	1	2	1	0	8	11	14	15
知識情報・図書館学類	0	1	0	0	0	0	2	1	4	0